

名 称	群馬県立前橋高等学校 P T A
会 員 数	8 3 0 人 (令和3年5月1日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>1. 組織</p> <p>(1)本部役員会 18名(会長1 副会長3 書記5 会計4 監査4 顧問1)</p> <p>(2)理事会</p> <p>①文化広報部会 (各学年10名程度)</p> <p>②生活進路部会 (各学年10名程度)</p> <p>③各学年部会 (各学年10名程度)</p> <p>(3)母の会 (本部役員6 理事 各学年10)</p> <p>2. 運営</p> <p>(1)本部役員会 校内の本部役員会(年4回)の他、地区・県の指導者研究集会や関東や全国大会に参加。</p> <p>(2)理事会</p> <p>①文化広報部会 P T A新聞の取材と発行。学校行事を分担して取材。編集会議を年20回程度行い、発行は年2回。</p> <p>②生活進路部会 年3回の進路講演会を主催し、運営。年3回のマナーアップ運動に参加。</p> <p>③学年部会 年4回の学年・学級懇談会を主催、運営。</p> <p>④その他、年3回の理事会がある。</p> <p>※本年度から、P T A役員の負担軽減のために、生活安全、進路、文化広報の3部会を上記のように2部会に統合した。</p> <p>(3)母の会</p> <p>P T Aとは独立した組織で、生徒の母親を会員とする。昭和27年の校舎火災の際に母親たちが復興のために尽力したことに始まる。以来、P T Aでは目の届かない細かな部分で生徒や学校を支援している。理事会(年2回)、総会、研修旅行を実施する。昨年度の新型コロナウイルス感染症感染拡大が学校にも大きな影響を及ぼしたが、マスク不足の折、会員に呼びかけ、手作りマスクをたくさん学校に寄贈し、生徒の学校生活を支援した。</p>
主 な 活 動	<p>1. 進路講演会</p> <p>3年生は8月、1・2年生は10月(別日程)に実施します。</p> <p>生活進路部会が講師の選定、当日の運営を学校の進路指導部と協議します。当日は、来校する車両の整理と受付、会場では司会進行と謝辞を担当します。</p>



ご子息の進路に関心が高い保護者が多く、例年の参加率は高くなっています。講師は受験に長く携わっている外部の方や校内の進路担当の先生にお願いし、保護者として最低限知っておきたい大学受験の知識をお話しいたします。今年度は、新型コロナウイルス

感染症の影響で、進路講演会等が書面やオンラインでの開催となりました。

2. マナーアップ運動

年間3回、生活・進路部会が県のマナーアップ運動にあわせて実施します。学校の校門と周辺の交差点10カ所に学校職員とともに生徒の登校状況を観察します。挨拶励行や交通マナーをはじめ、今年度は特にヘルメット




の着用注目しました。学校に戻ってから、気づいたことを報告し、学校から生徒に伝えてもらい、交通マナーの向上と安全に役立ててもらいます。

3. PTA新聞発行

文化広報部会が文化祭や定期戦などの学校行事や学校の様子を手分けして取材し、対面やオンラインで編集会議を何度も重ねて完成させる新聞です。タブロイド判で8ページになります。生徒の学校生活を保護者に伝えることに重点を置き、保護者からも大変好評を得ています。年に2回発行しています。



令和3年12月発行

<p>名 称</p>	<p>群馬県立渋川高等学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>6 0 3 人 (令和3年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織 今年度本部役員は会長1名、副会長4名、書記5名（教頭、教職員4名）、会計3名（内事務長1名）、監査2名、顧問2名（前PTA会長、校長）の計17名で構成されている。また、各学級から実行委員と学級委員の2名を選んでいる。</p> <p>2 運営 本部役員は年2回定例の本部役員会を開催している。実行委員は主に5月に行われるPTA総会に向けて実行委員会を開催し、PTA総会議案の検討や審議を行っている。実行委員会を経てPTA総会を開催し、議案の審議・承認等の手続きを行っている。学級委員は実行委員とともに、マナーアップ運動、学校保健委員会やその他の学校行事などに参加・協力している。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 P T A 総 会 毎年5月の土曜日に開催して、実行委員会で提案された議案について審議・承認を行っている。内容は校内のPTA参加行事や主に本部役員が参加する県内外のPTA行事の紹介、平日の早朝や土曜日に実施している進学対策補習の承認、部活動の支援など多岐に渡っている。当日は授業参観や学級懇談会、進路講演会などを併せて実施し多数の出席者により開催しているが、今年度は状況を鑑みて書面決裁による議案の審議・承認を行った。</p>  <p>2 学校行事への参加協力 隔年で開催している榛嶺祭（文化祭）では、一般公開において多数の来場者とともに生徒の保護者や家族が来校し、クラス展示や文化部の発表など授業とは異なる活動の様子を見学している。この榛嶺祭では、運動部員を中心として一般公開日に駐車場で模擬店を行っているが、保護者は本校同窓会役員と共同で来場者を対象にした食堂（蕎麦）を開催している。本格的な手打ち蕎麦を提供しており大変好評で、PTAと同窓会との親睦の機会ともなっている。また、学校周辺の地域の方々へは模擬店の無料チケットを配付しており、榛嶺祭を見に来てもらいながら本校への理解を深めてもらうことに繋がっている。令和2年度は本校が100周年にあたり記</p>

念の榛嶺祭であったが状況を鑑みて順延となった。令和2年度についても来校者を招いての榛嶺祭は厳しい状況であったことから、無観客で映像配信による開催となった。



また、例年11月に行われているマラソン大会では見学に来る保護者も少なくない。学級役員である保護者を中心に給水係として参加協力してもらっている。自分の子供の様子を知るとともに多数の生徒の頑張っている姿を見る機会となっており、参加を楽しみにしている保護者も多い。



3 その他

・マナーアップ運動



年3回のマナーアップ運動では学級役員に参加協力をお願いし、生徒交通安全委員と教職員とともに登校する生徒の様子を観察し、挨拶や交通ルールの遵守についての啓蒙を行っている。

・学校保健委員会

本部役員と学級役員に参加協力をお願いし、生徒保健委員会の研究発表や校医の講演会などを聞いて健康で安全な学校生活について意見交換を行っている。

・PTA新聞

年2回発行しているPTA新聞では、学校行事の様子や進学や部活動の成績、PTA本部役員やPTA活動について広報している。この中で本部役員が参加した県内外のPTA行事の報告や、学級役員などが参加した学校行事などについて報告し、会員相互の共通理解を図るとともに、日頃の学校運営への協力について共通理解を図っている。

<p>名 称</p>	<p>群馬県立藤岡北高等学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>3 5 4 人 (令和3年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織 ○本部役員 会長1名、副会長4名、書記4名(うち1名は職員)、会計4名(うち1名は職員)、会計監査4名、顧問(校長、教頭、前会長)、理事(教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、交通係、清掃美化係) ○クラス委員 3学年4名、2学年5名、1学年6名 ○専門委員(本部役員、クラス委員で編成) 生活指導対策専門委員21名、環境清美対策専門委員7名 拓北・広報活動専門委員2名</p> <p>2 運営(本部役員・クラス委員) P T A役員会(年8回)、P T A総会(年1回) 文化祭(2年に1回)、収穫祭(年1回) 中学3年生対象の進学相談会(年1回) 学習成果発表会見学(年1回)、研修旅行(年1回)</p> <p>3 運営(専門委員) ○生活指導対策専門委員・・・マナーアップ運動への参加(年3回) ○環境清美対策専門委員・・・合同清掃活動(年2回) 学校保健委員会(年1回) ○拓北・広報活動専門委員・・・P T Aだより発行(年1回) 機関誌「拓北」発行(年1回)</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 マナーアップ運動 年に3回、県下一斉に実施されるマナーアップ運動では、毎回、P T A生活指導対策委員21名と教職員14名、風紀交通委員の生徒6～8名で、学校周辺7カ所の交差点に分かれ、交通マナー向上に向けての声かけ、挨拶運動、身だしなみの点検などを行っています。学校東側の交通量が多い大きな交差点では、のぼり旗を立て、運転手に交通安全の呼びかけを行っています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

2 収穫祭

農業高校として、農産物の収穫時期の重なる11月に作物や野菜の収穫に感謝する収穫祭が行われます。PTA役員が前日に、学校で栽培・収穫した餅米を洗い、浸漬し、当日は餅米の蒸かしを担当します。PTA役員、教職員、各クラスで餅つきを実施し、つきたてのお餅を全校生徒とともに味わい、収穫を祝います。前日から準備に取りかかり、役員一同で盛り立て、学校行事の活性化を担っています。



3 研修旅行

年に1回、保護者と教職員の親睦を深め、相互理解に繋げ、学校行事やPTA行事の活性化を図るために実施しています。例年、PTA本部役員、クラス委員等を中心に約30名が参加し、農業関連施設の見学を行うなど、近隣地域の見識を高めるとともに参加者同士の交流を深めています。

平成 28 年度 茨城県
平成 30 年度 長野県

平成 29 年度 山梨県
平成 31 年度 東京都



名 称	高崎商科大学附属高等学校父母の会
会 員 数	1, 3 6 9 人 (令和3年5月1日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>1. 組織 会長1名・副会長3名(各学年の学年委員長が兼務) 書記3名(事務職員1名含む)・会計3名(事務職員1名含む) 理事17名・監事12名(各クラスの委員長等から会長により選任される)</p> <p>2. 運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎年5月に開催している父母の会総会の場で新年度役員を選任案を提示し、総会参加者の議決により同年度の新任役員が決定される。例年は本校講堂で行うが、昨年・今年度に限っては書面表決にて実施した。 また、同会においては、系列大学の担当者による大学紹介や入試制度の案内なども行われ、保護者へ進学情報を提供している。 ● 同会では、前年度の会計監査報告・新年度予算に関する表決、前年度事業報告と当年度事業計画も報告され、不明な点がある場合には質疑応答も対応する。書面表決に際しては、PDFデータの配布・確認を依頼し、表決を得た。 ● その他、県内外で行われる学校見学会や研修会などに関しては、本部役員の中で参加可能な人員が参加する。 <div data-bbox="1018 745 1449 1066" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">父母の会総会の様子</p>
主 な 活 動	<p>○ マナーアップ運動への参加 父母の会本部役員有志が登校時のマナーアップ運動へ積極的に参加している。本校正門前や最寄りの交差点などに加え、一部教員を本校生徒が利用している高崎駅などにも派遣し、多角的に運動へ参加している。また、本校の最寄り駅である北高崎駅周辺は小中学校も点在していることから、本校以外の子供たちへの挨拶・見守りも行っている。</p> <div data-bbox="359 1442 898 1845" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">北高崎駅周辺でのマナーアップ運動の様子</p> <div data-bbox="930 1442 1469 1845" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">父母の会役員と教員による声掛け</p> <p>○ 学園祭への出店 2年に1度行われる本校の文化祭において、父母の会と後援会でそれぞれカフェとバザーを出店している。2日間に亘って行われるため、事前に本校に担当者が集まり、運営方法や仕入れなどについての協議を重ね、準備を行っている。カフェで提供される食品や</p>

バザーの物品等も好評で多くの生徒や関係者が来店する。発生した売上の一部を生徒会へ寄付することで、生徒会活動の一助としている。



父母の会によるカフェの参加者



父母の会会長によるテープカットの様子

○ 三部合同行事の開催

父母の会が主催となり、後援会・同窓会の有志を募り、三部合同での研修旅行を年に1度行っている。旅行先は歴史的遺構や文化的な施設としており、近年では日光東照宮やJAXAなどを訪問した。そういったつながりの成果として、旧父母の会役員の運営する企業や事務所などに、本校生徒がインターンシップを行う機会をいただいたり、特別講義をしていただいたりしている。



JAXA 研修の際の集合写真



旧役員による特別講義の様子

○ 広報誌の刊行

本部役員の担当者が担当教員と連携して年に2回(8月と2月)発行している。発行にあたっては、担当者が来校し、会議室などで掲載する内容や写真、原稿依頼が必要であれば依頼に必要な依頼文などの内容を打ち合わせている。主な掲載内容は部活動の活動報告や会計報告、父母の会の活動報告などであり、多くの保護者に部活動や父母の会のことを知っていただく機会として活用している。



広報誌表紙の一例

教員と広報担当役員による打合せの様子